

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	唱歌「故郷」のふるさとおもてなし、農家民宿「なんだ屋」開業事業
事業主体 (連絡先)	中野市豊田特産振興会 (事務局) 小橋 善行 38-2526
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,302,767 円 (うち支援金 : 790,000 円)

事業内容

- ・ 宿泊施設としての準備として、トイレ、厨房の改修、ガスレンジ交換、備品類の整備。
- ・ 縁故者や外国人旅行者を対象にモニター実施、農作業体験提供。
- ・ 遊休荒廃農地を活用したソバ栽培、そば打ち体験。
- ・ 運営の参考のための先進地視察。



【なんだ屋でのそば打ち体験会】

【目標・ねらい】

- ① 農家民宿開業準備。
- ② 遊休荒廃農地の活用。
- ③ 女性グループ等の協力。
- ④ 今後の運営体制の整備。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 宿泊施設、食提供のために居室、設備等を改修し、開業準備が整った。
- ② 遊休荒廃地を活用しソバや野菜を栽培し、そば打ち体験会で使用することが出来た。
- ③ 縁故者や外国人旅行者をモニターとして農作業体験や地域食材の料理講習を女性グループや近所の主婦の協力を得て行うことが出来た。
- ④ 地域おこし協力隊員と先進地視察を実施し、今後の運営の参考となった。

※自己評価【C】

【理由】

開業準備は整ったが、本格運営まで至らなかった、各種課題もあり今後克服したい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ 開業準備は整った、今後は運営体制の強化と運営資金確保のため、有限事業責任組合「LLP」を設立する。
- ・ 地域おこし協力隊と連携し、隊員の任期後の定住に結びつくよう、情報発信や民宿運営のノウハウを蓄積し開業する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある